

事業実績書

団体名	白石地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地区住民同士の話し合いの機会を設け、地域づくりに関わる地区住民の増加を図る。とりわけ、将来を担う子育て世代等若い人(現役世代)の参加を促進する。		
	事業名	地域づくり活動参加促進	決算額	399,000円
②	視点	地区住民同士やSL乗客等他地区住民との交流促進を図るため「SLやまぐち号」の停車駅であるJR山口駅において「やまぐちえき」応援おもてなしイベントを開催する。		
	事業名	「やまぐちえき」応援イベント	決算額	175,910円
③	視点	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域の伝統文化に触れる事により、郷土愛を育み、以って地域住民の連帯感や絆を深める。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	380,237円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
<p>①新型コロナウイルスが5類に移行した中での活動となったが、専門部会や実行委員会を開催し、地区住民同士の話し合いの機会を設け、地域づくりに関わる地区住民の増加を図った。理事等役員と白石小中PTA等子育て世代(現役世代)との交流により、協力体制が構築できた。今後も地域づくり活動への参加意識の喚起・触発等啓発活動を推進し、地域づくりに関わる地区住民の増加を図っていく。更に、商店街、市民活動団体等との連携を強化しつつ、子育て世代等現役世代の参加を促進しながら、地域活動を進める。</p>	○
<p>②山口駅においてDLおもてなしイベント活動、写真展「ご当地自慢スポット in 山口」、山口駅周辺において観光ボランティア「てくてくウォーキング」を実施した。おもてなしイベントは、悪天候での運休(5月)やファーストラン(令和6年3月)が運行されなかった為、その2回はやむを得ず活動中止となった。おもてなしイベント来場者の中にはSNSを見て訪れたとの声もあった。今後も広報誌やSNS等を活用し、参加促進へつながるよう期待する。</p> <p>地福ナイトフェスティバルに参加し、他地区との交流を深めることができた。今後も、おもてなしイベントの実施、写真展の開催、観光ボランティアを継続し、白石地区および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。</p>	○
<p>③【ほたるまつり】 実行委員会メンバー他有志で、赤煉瓦広場において無料休憩所の設営・運営及び交通警備を行った。総勢29名の参加があった。</p> <p>【祇園祭】 4年振りの開催となり、お神輿担ぎ手96名、直会89名の参加があった。食推の皆さん(延べ20名)が、お神輿担ぎ手のために「力むすび」等を手造りした。総勢205名の参加があった。</p> <p>【山口七夕ちょうちんまつり】 8月6日の願事短冊の飾付に児童等190名の参加があった。一の坂川西京橋から千歳橋までの両岸においてミニちょうちんツリーを設置(飾り付け・点灯)に白石小・中PTA&生徒・JR実行委員会等137名の参加があった。総勢327名の参加があった。</p> <p>今後については、より多くの地域住民(とりわけ子育て世代と子どもたち)が参加してもらえるような、より楽しい企画を検討し、実施する。</p>	○

4 総括

今年度は、新型コロナウイルスの5類移行した中、交付金の活用によって、専門部会、実行委員会等を中心とした地域課題の解決に向けた取り組みが進んだ。
今後については第3次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(C)、改善する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5,729,289円
事務局の 運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務職員:2名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 新会計管理システムの運用により、適正な資金管理(財務会計業務)ができた。</p> <p>(今後に向けて) ムダ・ムリ・ムラを無くし、効率の上がる適切かつ円滑な事務運営に努める。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域づくり活動参加促進
事業費	399,000円
事業概要	<p>(実施内容) 地域課題の解決に向けて、専門部会、実行委員会等運営態勢を構築する。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 115人</p> <p>(成果) 各専門部会等の運営に関わる人たちの参加意識の向上が図れた一方、理事等役員との交流により、協力体制が構築できた。</p> <p>(評価) 今年度における専門部会の出席率が84%となり、昨年(89%)と比較して4%減少した。また、参加人数が115名となり、昨年と比較して4名(3.6%)増加した。</p> <p>(今後に向けて) 地域の将来像や地域課題解決のために実施する事業の情報を地域住民同士が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。 また、地域づくりに関わる啓発研修会や自由な意見交換会等を開催するなど啓発活動に取り組む。</p>

事業名	広報事業
事業費	944,946円
事業概要	<p>(実施内容) 広報誌配布、公式ウェブサイト運営、SNS投稿(Facebook・Instagram)</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 4人</p> <p>(成果) 広報誌:全戸配布12回、公式ウェブサイト:更新16回(SNSの更新は随時サイトトップページに表示)、SNS:年間100回程度投稿(月平均9回) Instagramフォロワー数100名以上増加</p> <p>(評価) 広報誌を毎月発行、公式ウェブサイトを適宜更新、SNSを活用するなど、各事業の開催案内・結果報告等掲載し、活動状況の周知が図れた。</p> <p>(今後に向けて) 次年度も、引き続き広報誌の毎月全戸配布、公式ウェブサイトを適宜更新し、情報発信チャンネルを強化する。とりわけ、SNSについては情報提供回数を増やし内容を充実させ、現役世代の若い人たちへ地域づくり活動状況をタイムリーに発信する。 また、若い世代を中心とした広報委員会の創設を目指す。</p>

事業名	「やまぐちえき」応援イベント
事業費	175,910円
事業概要	<p>(実施内容) JR山口駅ホームにおいてSLやまぐち号おもてなしイベント開催。JR山口駅ロータリーの環境美化活動。市内観光ウォーキング開催。JR山口駅構内待合室において白石地区の魅力を発信するための写真展開催。他地区との交流促進として第30回地福ナイトフェスティバルへの参加。</p> <p>(実施時期) 令和5年5月、6月、7月、8月、10月、11月、12月</p> <p>(参加人数) 16人(実行委員会メンバー)</p> <p>(成果) DLやまぐち号・クリスマス号のおもてなしイベント、ご当地写真展、観光ウォーキング等を開催し、利用者や近隣住民の皆さんへ白石地域の魅力を発信した。実行委員や支援者の地域活動における協力体制への意識が高くなり、自発的に行動できるようになった。</p> <p>(評価) 写真展『ご当地自慢スポット in 山口』では駅利用者等の皆さんへ「ちょうちん祭り」等の伝統文化や白石地区の街の移り変わり、100年に一度しか咲かないという奇跡の花「竜舌蘭(リュウゼツラン)」など、白石地区の魅力や貴重な記録を発信することができた。 白石歴史探訪の会とコラボ開催である観光ボランティア「てくてくウォーキング」では、参加者との交流を深めることができた。 地福ナイトフェスティバルに参加し、他地区との交流を深めることができた。</p> <p>(今後に向けて) 今後も継続してJR山口駅のおもてなしイベントの実施、ご当地写真展の開催、駅前ロータリー清掃を実施する。 また、6・10月の観光ボランティア「てくてくウォーキング」については、来年度も白石歴史探訪の会とコラボして実施したい。 白石地区および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。</p>

事業名	白石フェスティバル開催支援(プロジェクト事業)
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加による親睦イベントとして開催。</p> <p>(実施時期) 11月19日</p> <p>(参加人数) 約3,000人</p> <p>(成果) 新型コロナウイルスが5類に移行して初の開催となり、「誰もが楽しめる場を創りふれあいを取り戻そう」というスローガンのもと、近隣学校との連携を一層強化した。小中学生がステージ発表や運営ボランティアとして積極的に関わるなど、地域全体でイベントを盛り上げることができた。</p> <p>(評価) 「子どもからお年寄りまで多くの地域住民が参加し、住民同士の連帯感を醸成する」という将来像に近づくことができた。</p> <p>(今後に向けて) 更なる地域住民の参加と協力を促進する方策を検討し、フェスティバルの魅力をさらに高めていきたい。</p>

事業名	白石地区町内親睦大運動会開催支援(プロジェクト事業)
事業費	0円
事業概要	<p>(実施場所) 白石小学校グラウンド</p> <p>(実施時期) 5月21日</p> <p>(参加人数) 約400人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦及び体力づくりを推進することができた。</p> <p>(評価) 自治会対抗競技にオープン参加枠を追加したことで全世代参加機会が拡大できた。新規競技は全世代で楽しめるよう幼児や親子で参加できるものを導入した。参加賞、賞品をテント(退場口そば)に取りに行くよう変更したことで、ご年配のボランティアを配することができ、年配者と子どもとの交流する場を設けることができた。</p> <p>(今後に向けて) 参加人数は目標に届かず、反省点も多くあったが、ご参加頂いた方からの感想は「楽しかった。面白かった」との声が多く、又、笑顔も沢山見ることもでき、4年振り開催を考慮しても上出来と評価し、来年の第60回記念大会に繋げたい。</p>

事業名	町内会親睦活動支援
事業費	150,000円
事業概要	<p>(実施内容) ヴェルテ白石町内会「納涼夏祭り」・西惣太夫町内会「小さな夏祭り」 今市自治会「福部童子祭」・今道・大附自治会「5自治会合同サマーフェスティバル」 荒高自治会「もりさま祭り」</p> <p>(実施時期) 令和5年7月29日・8月19日・8月25～26日・8月26日・9月2日</p> <p>(参加人数) 延980人</p> <p>(成果) 【納涼夏祭り】食材の品質アップを行った為、来場者から好評だった。 【小さな夏祭り】新規会員の参加する世帯方も多く、おやじの会、子ども会活動の声掛けも出来た。 【福部童子祭】幼児を含む子供達と地域住民とのコミュニケーションがとれた。 【5自治会合同サマーフェスティバル】子供達を中心に催し物を楽しんだり、参加者同士の交流・親睦が図れた。 【もりさま祭り】子供向けのゲームコーナーを充実させることにより、自治会内、周辺住民の方々に多くの参加をいただいた。</p> <p>(評価) 【納涼夏祭り】3世代のふれあいの場として役立った。 【小さな夏祭り】開催決定基準を設け、周知方法を検討した事で、準備段取り良く、トラブルもなく出来た。 【福部童子祭】地域の子供達と地域の大人との交流の場として役立った。 【5自治会合同サマーフェスティバル】コロナ禍で失われていた5自治会での交流・親睦が図れた。 【もりさま祭り】白石地区スポーツ協会・白石中学校PTA・山口大学ボランティアの学生・白石地区消防団のご協力をいただいた。</p> <p>(今後に向けて) 今後については高齢化が進む中、役員の負担軽減、他団体の協力をいただきながら、伝統ある祭りを継続をしていきたい。</p>

事業名	ふるさとまつり参加促進事業
事業費	380, 237円
事業概要	<p>(実施内容)【ほたるまつり】は無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。 【祇園祭】は御神幸・御還幸のお神輿担ぎ募集・直会を開催した。 【ちょうちんまつり】はステージは設置せずに、ほたる広場では白石カフェのみを行った。 8月6日に白石小・中PTAを中心に、ミニちょうちんツリー点灯・願い事短冊の飾付を実施した。</p> <p>(実施時期) 令和5年5月27日・令和5年7月20日・27日・令和5年8月6日・7日</p> <p>(参加人数) 561人(スタッフ等協力者延人数)</p> <p>(成果) 【ほたるまつり】参加者29人 【祇園祭】参加者205人 【山口七夕ちょうちんまつり】参加者327人 白石小学校・白石中学校のPTA関係者の多くの協力を得た。</p> <p>(評価) 事前に会議を行い、最終確認をしたことから、事前準備、お祭り、片付けまで円滑に実施できた。</p> <p>(今後に向けて) 伝統文化活動を通じて、子どもからお年寄りまでの三世代間の交流を促進する。とりわけ、自治会連合会を通じて、各単位自治会から最低1名程度の参加を実現したい。</p>

(3) 地域福祉

事業名	チャレンジ健康づくり
事業費	79, 697円
事業概要	<p>(実施内容) ACPを中心に計画10回中、9回実施した。各回、子ども中心のACPを行いながら、途中でニュースポーツを取り入れ実施した。従来型講座形式での活動は、「サステイナブルなカラダを手に入れよう！」とのテーマのもと、全5回で計画、全て予定通り実施した。</p> <p>(実施時期) 令和5年8月、9月、10月、11月、12月</p> <p>(参加人数) 516人(スタッフ延人数)</p> <p>(成果)今年度は、ACPを中心に行い、延405人の参加があった。途中に取り入れたニュースポーツは、当初予定のボッチャから小さなお子様も競技可能なラダーゲッターに変更し、親子同じチームで競技に親しみながら楽しく運動して有意義な時間を共有する事ができた。 従来型講座形式での活動は、全5回開催、延べ111人参加され、第2回講座では新規に8人追加申込があり、健康に関心のある方の呼び込みに繋がると確信した。</p> <p>(評価) ACPを中心とした活動の中で、サポートスタッフとして白中、附属中生徒に参画頂き、学校の枠を超えたボランティア交流が生まれた。また従来型講座形式での活動も、新規参加者が増えて、充実した活動ができた。</p> <p>(今後に向けて) 更により多くの方に参加いただくため、より健康志向、健康寿命の延伸をテーマに企画していきたい。</p>

事業名	健康食のおススメ
事業費	39,039円
事業概要	<p>(実施内容) 生活習慣病予防に役立つ食生活の習得を目的とした「男性料理教室」や、カルシウム摂取に特化した「生涯骨太クッキング」を実施した。山口祇園祭では、白石地区の神輿担ぎ手に手づくりおむすびを提供した。チャレンジ健康づくり最終回に健康食弁当を作り提供した。広報誌にカルシウムが摂取できる等のレシピを3回掲載した。</p> <p>(実施時期) 令和5年5月、7月、9月、10月、12月、令和6年2月</p> <p>(参加人数) 24人</p> <p>(成果) 今年度に入り新型コロナウイルスが5類に移行し、従来行っていたイベントを開催することができた。「男性料理教室」では食事のバランス改善を考えると共に、「食事を作る楽しさ」を感じてもらうことができた。「生涯骨太クッキング」では、保健師からカルシウムについて講義があり、その後調理を行うことでより一層”食”を通しての健康づくりに意識が高まった。</p> <p>(評価) 広報誌へのレシピ掲載、料理教室の開催等により、適正な塩分量や美味しくカルシウムを摂取できる料理の提案を行い、食育の大切さおよび食への関心を高める活動になった。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も、病気予防(健康維持)に役立つ様々な料理教室や、広報誌に健康食レシピを掲載するなど、幅広い活動を行う。 また、広報誌だけでなく口コミによる料理教室等の開催情報の周知に努め、参加者の増加を図りたい。 今後も「チャレンジ健康づくり実行委員会」と協働で健康食弁当を提案する。 より多くの地域住民の”食”に対する意識を高められる様、今まで以上に”食”を通じた健康づくりを地域の皆様に伝えていきたい。</p>

事業名	グラウンドゴルフ参加促進
事業費	102,475円
事業概要	<p>(実施内容) グラウンドゴルフ大会を開催。</p> <p>(実施時期) 令和5年6月、10月、11月</p> <p>(参加人数) 66人(実行委員会メンバー26人)</p> <p>(成果) 今年度は、春季、秋季、地域づくり協議会会長杯の3大会を開催した。準備、運営はグラウンドゴルフ実行委員会が中心となって実施した。</p> <p>(評価) 今年度は実行委員会の新規会員数が2名増加した。</p> <p>(今後に向けて) 今年度参加がなかった、初心者向けの講習会、親子交流戦を来年度は内容を充実させて参加者増に繋げていきたい。今後も練習会を毎週月曜日と金曜日、月例大会を月に1度実施し、交流を図っていきたい。大会結果報告を広報誌に掲載継続する。</p>

事業名	むかし遊び
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小学校と連携して、新入生(1年生)を対象として実施。</p> <p>(実施時期) 11月16日(木)</p> <p>(参加人数) 39人(実行委員会メンバー9人)</p> <p>(成果) 一昨年、昨年の参加者に案内ハガキを送付、また民生・児童委員や部会員・白石小PTAから声掛けをした。昨年同様39名の参加者があった。高齢者と1年生の楽しく充実した交流が図れた。昨年と同様、計9種目で行った。</p> <p>(評価) 福祉部会員、民生児童委員、近隣住民、白石小PTA、そして白石小学校の先生の協力があり、スムーズに運営できた。子ども達も全部の種目で楽しそうに遊ぶ様子が見られた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度から、過去全ての参加者に案内ハガキを送付、知人への紹介・白石小PTAに参加を働きかけていただき、より多くの参加者を募る。児童のケガ等がないように、安全面、種目、人員等を再度検討する。時間調整が必要な部分は、方法を協議していく。</p>

(4)安全・安心

事業名	危険防止看板設置等
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) 申請事案がなかった。</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 子どもの交通事故等の危険箇所注意を呼び掛ける看板やステッカーなどの表示設置が不十分な箇所があるため充実させたい。</p>

事業名	反射鏡設置等事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) 申請事案がなかった。</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 地域内の交通安全を守るために、次年度以降も危険個所に反射鏡等の設置をしていく。</p>

事業名	自主防災活動参加促進
事業費	40,993円
事業概要	<p>(実施内容) 自主防災勉強会等開催。 山口県自主防災アドバイザー養成研修の受講により新たに認定自主防災士を養成する。</p> <p>(実施時期) 令和5年4月～令和6年3月</p> <p>(参加人数) 30名</p> <p>(成果) 今年度新たに1名が認定自主防災士となり、白石地区の認定自主防災士は30名となった。 また、市認定防災組織・認定自治会等の増加に注力し、白石地区自主防災組織の構築に向けた支援を実施した。 自主防災士による防災講座を自治連町内会(自治会)会長等を対象として実施した。 令和6年3月3日(日)に14自治会にて自主防災発災実動訓練を実施した。防災イベントではビニール袋にて炊き出し訓練を行い、防災意識向上の一助となった。</p> <p>(評価) 認定自主防災士の増加や実行委員会を定例開催(毎月1回)するなど運営態勢が充実した。</p> <p>(今後に向けて) 単位町内会(自治会)を対象として、地区自主防災士による防災講座を開催。 市認定防災組織認定町内会(自治会)、認定自主防災士の単位町内会(自治会)における自主防災組織の認定を支援する。</p>

事業名	夏休み防災訓練キャンプ実施
事業費	60,159円
事業概要	<p>(実施内容) 給水訓練、バケツリレー、着衣水泳、昼食、救命講習、放水体験</p> <p>(実施時期) 令和5年7月29日</p> <p>(参加人数) 29人</p> <p>(成果) 例年通り半日でのデイキャンプを実施した。</p> <p>(評価) 今回の体験も含め、家庭で話をしてもらうきっかけとして、各家庭での災害への備え用に防災食や防災ペンなどを持ち帰ることにより、子ども達のみならず各家庭での防災意識の向上に事業効果を上げる事が出来た。</p> <p>(今後に向けて) 今年度も参加児童数については、目標まで及ばなかったが、小学校の先生方も昨年よりも多く参加され、子どもへの活動を通じて、学校での関心も高くなった。 来年度も、学校や地域と協議の上、参加児童への呼びかけ方法等を検討し、引き続き事業を進めていく。</p>

事業名	安全パトロール事業
事業費	29,802円
事業概要	<p>(実施内容) 児童の登下校の安全見守り、挨拶運動 ボランティアへの児童の下校時刻予定表や情報、連絡網等の送付。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 41人</p> <p>(成果) 児童の通学時における安全確保を目的に学校とボランティアの連携が図られた。</p> <p>(評価) パトロール要員が昨年と同数となった。登録ボランティアの協力のおかげで児童の事件事故の被害事案はなかった。</p> <p>(今後に向けて) より安心・安全な町づくりのために、地域の広報誌等を通じて、登録ボランティアの増員を図っていき、参加人員の確保・拡大をしていきたい。</p>

(5) 環境づくり

事業名	環境美化・保全活動推進
事業費	76,466円
事業概要	<p>(実施内容) 五十鈴川における草刈等清掃活動による環境美化・保全活動</p> <p>(実施時期) 令和5年8月27日</p> <p>(参加人数) 310名</p> <p>(成果) 五十鈴川の美化・保全が図れた。</p> <p>(評価) 参加人員目標の350名は下回ったものの、白石小・中、附属小・中PTAの参加者は増加した。近隣の自治会等より52名が加わり、総勢310名の参加があった。熱中症等事故なく安全に作業を終えることができた。反省会・直会では、今後の実施に向けて、忌憚のない意見交換ができた。</p> <p>(今後に向けて) 学校関係、近隣自治会等へ主旨説明を行い参加要請をして行き、環境美化・保全活動の深化・拡大を目指す。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	白石歴史探訪の会
事業費	290, 509円
事業概要	<p>(実施内容) 講演会、広報誌およびHPにコラム掲載。講師(ガイド)による史跡巡りを実施。</p> <p>(実施時期) 令和5年5月～令和6年1月</p> <p>(参加人数) 講演会189人、史跡巡りウォーク42人(延べ人数)</p> <p>(成果) 今年度は、講演会の中止・追加があったが、すべて計画通り実施できた。講演会・広報誌へのコラム掲載・史跡巡りにより、山口市で行動・活躍した人物や史跡を詳しく周知することができた。新企画の「クイズ大会」は参加者89名、全問正解者39名(延べ人数)、表彰者19名(延べ人数)で大変好評だった。</p> <p>「やまぐちえき応援イベント」協力は、参加者との交流を深めることができた。</p> <p>(評価) 講演会・広報誌へのコラム掲載は好評であった。今年度は歴史民俗資料館文化財専門員と小郡文化資料館文化財専門員を講師に招いて講演会を開催し、山口の歴史に触れることができた。講演会は6回、史跡巡りバスツアー・ウォークは2回開催し講師によるガイドの下、より深く知ることができた。</p> <p>(今後に向けて) 新規講師の発掘によりタイムリーな講演内容とし、参加者の増員を目指すとともに、白石地域に愛着や誇りを持ってもらいたい。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。